

令和８年度第１回目黒区地域包括ケア推進委員会会議録

名 称	令和８年度第１回目黒区地域包括ケア推進委員会
日 時	令和８年６月２６日（金） 午後６時３０分～８時００分
場 所	目黒区総合庁舎２階大会議室
出 席 者	（委員）中島会長、倉持副会長、武田委員、細谷委員、田邊委員、佐藤委員、池田委員、渡邊委員、赤堀委員、浅海委員、林委員、小野田委員 （欠席）村上委員、石黒委員 （区側）健康福祉部長、介護保険課長、福祉総合課長、健康福祉計画課長、高齢福祉課長、障害施策推進課長、障害者支援課長、健康推進課長
傍 聴 者	０名
配 付 資 料	<事前配付資料> ・資料１ 目黒区地域包括ケア推進委員会要綱 ・資料２ 目黒区地域包括支援センター概要（５包括分） ・資料３ 目黒区地域包括ケア推進委員会の進行及び公開等の取扱いについて（案） ・資料４ 地域密着型サービス等に係る区内事業者の指定について ・資料５ 指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令和８年２月～令和８年４月） <当日配付資料> ・「目黒区地域包括ケア推進委員会構成員」名簿 ・座席表 ・あなたと歩む介護保険～介護保険総合パンフレット～ ・目黒区保健医療福祉計画 第９期目黒区介護保険事業計画 ・第１０期介護保険事業計画基礎調査・高齢者の生活に関する調査報告書《概要版》
会 議 次 第	１ 開 会 ２ 委嘱状の交付 ３ 健康福祉部長あいさつ ４ 委員の紹介 ５ 区側出席者の紹介 ６ 会長・副会長選出 ７ 議 事 （１）目黒区地域包括ケア推進委員会の進行及び公開等の取扱いについて（案）（協議事項） （２）地域密着型サービス等に係る区内事業者の指定について（協議事項） （３）指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令和８年２月～令和８年４月）（報告事項） （４）その他 ８ 閉 会
会 議 結 果	１ 会長互選について 中島委員を推薦する声があがり、会長就任を満場一致で決定した。 ２ 副会長選任について

	中島会長が、倉持委員を指名した。 3 議事に関する結果 (1) 目黒区地域包括ケア推進委員会の進行及び公開等の取扱いについて（案） （協議事項） 資料3「目黒区地域包括ケア推進委員会の進行及び公開等の取扱いについて（案）」の内容を確認し、委員会として承認するものとした。 (2) 地域密着型サービス等に係る区内事業者の指定について（協議事項） 委員会で決めた公開の取扱い、「意思決定の過程の情報で、公開により公正又は適正な意思決定を著しく妨げるおそれのあるもの」に該当するものとして、「非公開」とした。 資料4「地域密着型サービス等に係る区内事業者の指定について」の内容を確認し、委員会として承認するものとした。 (3) 指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令和8年2月～令和8年4月） （報告事項） 資料5「指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令数8年2月～令和8年4月）」の内容を確認し、報告を受けたものとした。
議事に関する資料説明の概要及び主な発言要旨 1 目黒区地域包括ケア推進委員会の進行及び公開等の取扱いについて（案）（協議事項） (1) 議事に関する資料説明の概要 （介護保険課） 資料3に基づき説明 (2) 主な発言要旨 ○委員 異議なし ○会長 1、目黒区地域包括ケア推進委員会の進行及び公開等の取扱いについて、委員会として承認するものとする。 2 指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令和8年2月～令和8年4月）（報告事項） (1) 議事に関する資料説明の概要 （介護保険課） 資料5に基づき説明 (2) 主な発言要旨 ○会長 介護事業所の倒産が全国的に増えていると思うが、目黒区内の地域密着型サービス事業所の状況はどうか。 ○区側 全体の傾向として、区内の地域密着型サービス事業所では減少傾向は見られず、今回の期間においても1事業所の廃止及び1事業所の新設により、事業所の総数は維持されている状況である。 ○会長 本区の南部・中央地区に事業所が多い理由は何か。 ○区側 南部地区及び中央地区に事業所が多い要因として、利用者数を見込みやすいことや用地確	

保が比較的容易であることが挙げられる。一方、北部地区については送迎面など運営上の課題があり、事業所数が少ない状況であると捉えている。

○委員 リハビリに特化しているタイプの事業所について、近隣区の類似する事業所は利用希望者が多く人気がある。目黒区内においても同様の事業所が増えることを期待する。

○区側 近年、新規指定した地域密着型通所介護事業所には、機能訓練や介護予防に特化した事業所が一部で見られる。今後についても、高齢者の介護予防や健康づくりへの関心の高まりを背景として、こうした事業所が増加する可能性はあると考えられる。

○委員 地域から寄せられる要望やニーズを、事業所開設を検討する事業者へ伝えることは可能か。

○区側 事業者から新規開設に関する相談を受ける場合があり、例えば、そのような機会を捉えて地域から寄せられるニーズや区内の状況等についてお伝えすることは可能である。

○会長 3、指定地域密着型サービス事業所の指定等の状況（令和8年2月～令和8年4月）については、報告を受けたものとする。

3 その他

（1）主な発言要旨

○区側 第10期介護保険事業計画策定に係る基礎調査結果の概要について報告する。調査結果からは、高齢者の在宅生活継続への意向が高さや、スマートフォンの利用率及びフレイルの認知度が上昇していること、地域包括支援センターの認知度が向上していることなどがうかがえる。

○委員 竹の子クラブ（老人クラブ）等においてフレイル予防講座が実施されており、高齢者のフレイルに対する認知度向上につながっていると感じる。

○委員 高齢者のみならず、脳卒中等により介護保険サービスを利用する若年層も増加していることから、生活習慣病予防にも注力する必要がある。

○委員 医師会においてもフレイル対策を重視しており、介護予防及び疾病予防の観点から引き続き推進すべき課題であると認識している。

○副会長 基礎調査結果から介護者の精神的・身体的負担の大きさがうかがえるため、高齢者支援に加え、介護者支援についても検討していく必要がある。

○区側 当委員会の次回開催は、9月上旬頃を予定している。詳細については、改めて連絡する。

以 上